

はじめに

学会「企業と社会フォーラム」(JFBS)は、2011年に発足し今年10周年を迎えた。それを記念して本誌では巻頭に Joachim Schwalbach フンボルト大学教授と Timothy M. Devinney マンチェスター大学教授による招待論文“Corporate Purpose: Fact or Fiction? Myth or Reality? The Honourable Merchant as the Historic Basis of Corporate Purpose”を掲載している。JFBSは、Schwalbach教授がリードしてきた International Conference on Sustainability and Responsibilityと連携してきた。Devinney教授は同大会 Committee メンバーとして支えてこられ、Academy of Management PerspectivesのCo-Editorも勤められた。論文は、混迷する時代において改めて企業のパーパスを問い直し、企業(家)とは何かを考え直す契機を与えてくれる。

本号では、さらに本年3月に行われた企画シンポジウム「日本におけるポストコロナと持続可能な『企業と社会』」の抄録、事例紹介・解説、学界展望から構成されている。当初第10号は、昨年9月に開催予定であった第10回年次大会での議論およびその後の研究成果をもとにした論文を所収する予定であった。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により大会の開催が中止、延期となったため、それらは次号に持ち越しとなった。

ところで、JFBSは2020-2021年、コロナ禍によって対面での大会、研究会ができなくなったことに対応し、オンラインでの研究会およびシンポジウムを積極的に開催してきた。これまでは東京に来ることが難しかったスピーカーや参加者がオンライン参加することができ、多様な議論を展開することができた。とくにコロナ禍における企業と社会にかかわる問題について、2つのシンポジウムを企画し、国際的にあるいはセクター横断的に考え議論してきた。

国際シンポジウム“Sustainability Management in Post Corona Era”(1月23日)においては、ロシア、韓国、タイ、インドネシア、台湾からスピーカーを迎え、コロナ禍は企業活動にどのような影響を及ぼしたのか、各国において企業はステイクホルダーと今後どのような関係を構築していけばよいのか、議論を行った。もう一つ、シンポジウム「日本におけるポストコロナと持続可能な『企業と社会』」(3月6日)においては、日本ではポストコロナにおいて何が問い直され、何がこれまでと変わらないのか、企業セクター、NGOセクターの実務家と研究者が多様な視点から議論を行った(本誌抄録参照)。

投稿論文に関しては、JFBS編集委員会による審査が行われた。今回国内外から投稿された学術論文3本については、残念ながら最終的に掲載に至らなかった。事例紹介・解説については投稿された4本のうち3本が掲載されることとなった。今後とも学術論文の積極的な投稿を期待している。

学界展望は、JFBSが設立10周年を迎えたことを記念して、この10年間の活動を総括し、次の10年に向けた課題を示している。

さて、本年9月に開催される第10回年次大会では「サーキュラーエコノミーを目指して」

(Circular Economy Transition: Exploring the Institutional, Organizational & Behavioral Dimensions) をテーマとし、持続可能な経済社会の実現に向けた理論構築、政府の政策や企業の経営戦略の策定、セクターを超えたコラボレーションなど、広く議論を行う予定である。具体的には、プラスチック問題、食品ロス、サステナブルファッション、再生可能エネルギー、持続可能な農業、シェアリングなど多くの課題が問われることになる。

コロナ禍の中、今後の動向が読めないため、第10回大会は全面オンラインで開催することとなった。10回記念大会のキーノートスピーカーの一人として、ステイクホルダー理論で有名なヴァージニア大学の Edward Freeman 教授をお呼びしている。大会の内容や申し込みについては、JFBS のウェブサイトを参照いただきたい (<https://j-fbs.jp>)。

最後に、コロナ感染の一日も早い収束を願うとともに、多くの研究者、実務家が安心して集まり、再び活発な議論ができるようになることを願っている。

今号も発行に当たっては千倉書房に大変お世話になった。記して感謝の意を表したい。

2021年6月

企業と社会フォーラム会長
早稲田大学商学学院商学部教授
谷本 寛治